

Chigasaki Municipal Hospital [Newsletter]

2024.2

第11号

茅ヶ崎市立病院通信

腰や膝の痛みを抱える患者さんにとって、遠くまでの通院は避けたいところ。今回はそのようなニーズをふまえ地域での専門的な医療提供に取り組む当院の整形外科を特集します。

より正確で安全な手術を目指して
脊椎センター・人工関節センター開設

特集

～地域で受けられる
高度な医療を目指して②～

脊椎センター・人工関節センターのご紹介

働き方改革スタートに向けてのお願い
検診で早期発見を。乳がん検診のご案内
<Information> ホームページ更新のご案内

地域完結型で 専門的な治療を行う

脊椎センター・人工関節センター開設



地域完結型医療の実現に向けて

河野 整形外科の疾患は、腰痛や頸部痛、肩こりなどの脊椎に係わるものや関節痛などが大きな割合を占めます。

現在、脊椎、関節ともに年間の手術件数が100件を超え、高齢化の進行から今後もますます需要が高まっていくものと考えられます。このような需要を踏まえ、専門性の高い治療を行っていることを知っていただくために昨年8月脊椎センター・人工関節センターを開設しました。

当院は、市民の皆さんに高度な医療を提供することで、住まいである茅ヶ崎市内で診断から治療まで受けることができるよう、地域完結型医療の実現を目標としています。

精度の高い手術を実現するために

河野 両センター開設に伴い、正確で安全な手術を手助けするコンピュータナビゲーションシステムという技術を導入しました。都心部では、コンピュータナビゲーションシステムを導入している病院は多くありますが、この地域ではまだまだ普及していません。

コンピュータナビゲーションシステムを使用することで、手術中にネジやインプラントがどの位置にあり、どの程度動かしたらよいかなどをコンピュータで計測することができます。

10年くらい前ですと膝関節手術は、股関節と膝と足首を結ぶ部分に専用の棒のようなものを当てて、手術の角度と処置の方法を決めていました。この棒を当てていた作業が、棒を当てるのではなく赤外線を当て画像化してコンピュータに読み込ませることで、より正確に手術の角度などを決め処置の方法を決められるようになりました。



丹羽 当院での人工関節の手術は、数値化した骨や人工関節の形状を画像化します。それらの画像を使用して可動域や取り付け状態をシミュレーションした術前計画を作成し、その計画に沿って人工関節を装着します。シミュレーションを行うことで、手術の際に行う骨を削る処置を少なくすることができます。

河野 脊椎の手術では、事前に撮影したCT画像をコンピュータナビゲーションシステムに読み込ませて、コンピュータ内の画像と実際の患者さんとの位置を合わせる作業を行います。骨の形とCT画像の形を重ね合わせて処置を行います。

丹羽 コンピュータのアシストがあることで手術時間の短縮やより精度の高い手術を行うことができ、合併症リスクの低下、術後の早期回復も期待できると言われています。

住み慣れた地域で治療できるメリット

河野 地域の中でも専門性の高い治療を心がけています。当院には、他の診療科を受診しながら、腰や膝の痛みなどで整形外科を受診する方も多くいらっしゃいます。遠くの病院を受診しなくても住み慣れた地域で専門性の高い治療を受けられ、他の症状や合併症があっても他の診療科と連携して治療することができるのは当院の強みだと思います。

地域の整形外科の先生方と月2回程度勉強会を行い、当院の症例なども紹介しています。このような勉強会を行うことで、地域の先生方との連携も強化することができました。

また、整形外科の先生方との連携強化だけでなく、内科系の先生方からの紹介やホームページを見て当院を受診してくださる方も増えています。

丹羽 患者さん同士の口コミで当院を受診していただく方も増えてきていますので、とてもうれしく感じています。

河野 紹介状のない方は、一般外来で診察していますが、地域の開業医の先生方から「保存治療は限界で、一度相談したい」と書かれた紹介状をお持ちになって受診いただく方が増えています。

膝が痛いや腰が痛い、足の付け根が痛い、手足が痺れる、歩行が困難など症状があれば、かかりつけの先生にご相談いただき、紹介状をお持ちになって私たちにご相談ください。

INTERVIEW

中央診療部長
(整形外科部長兼任)

河野 心範

(公社)日本整形外科学会認定 整形外科専門医
身体障害者福祉法指定医(肢体不自由)



整形外科副科部長

丹羽 陽治郎

(公社)日本整形外科学会認定 整形外科専門医
身体障害者福祉法指定医(肢体不自由)



腰や関節の痛みアプローチして日常動作を快適に 脊椎脊髄疾患・関節疾患への取り組み

脊椎脊髄疾患の治療

脊椎脊髄は体を支えて動かすという大事な機能をつかさどり、同時に脊髄や末梢神経を含んだ神経組織でもあります。そのため、治療には高度な知識と技術が求められます。



POINT 当院の整形外科には7名の医師が在籍しており、診断から治療までより専門的な診療にあっております。



関節外科手術用のコンピュータナビゲーションシステム。こちらの画面を確認しながら手術を行います。

保存的治療を十分に行う

変性疾患(老化などの椎間板の変性により、脊椎が変形する病気)や椎体骨折(背骨の骨折)に対しては原則的に保存的治療(直接原因を取り除くのではなく、症状の改善や緩和を目指す治療)を十分に行います。

症状に応じて外科的治療(手術)を

重度の神経障害や痛みが強く日常生活動作の改善がなかなか得られない患者さんに対しては積極的に外科的治療(手術)を行っています。

外科的治療(手術)の例

腰椎椎間板ヘルニアに対しては顕微鏡を用いた除圧術などを行っています。腰椎変性側弯症やすべり症などの脊柱管狭窄症にはインストゥルメンテーション(固定するための器具)を用いた矯正固定手術などを行っています。



POINT 脊椎の手術は大きく分けてインプラントを使用して脊椎を癒合させる「固定術」と、骨を削って神経の通り道を広げる「除圧術」があります。

関節疾患の治療

健康寿命を延ばすためには適度な運動が大切ですが、股関節や膝関節の痛みは運動習慣の大敵といえます。長年使用した軟骨がすり減って生じる変形性関節症など、関節に痛みを抱える患者さんにとって、人工膝関節や人工股関節は自立した歩行を助ける手段として注目を集めています。



外科的治療(手術)の例

重度の変形性関節症に対してはコンピュータナビゲーションシステムを用いた人工関節置換術を主に膝関節、股関節に行っています。中等度の変形性膝関節症例に対しては高位脛骨骨切り術(O脚に変形したすねの骨を切り、少し角度を変えることにより正常な膝や脚の形に近づける手術)を選択する場合があります。

術後はリハビリテーションを行うことで早期の回復を目指し、入院期間は2~3週間となっています。

正確で安全な手術を手助けするシステムと多職種連携

コンピュータナビゲーションシステムなど

新たな技術で対策を

脊椎脊髄疾患も関節疾患も、複雑で繊細な手術手技が必要となることから、計画通りに手術が行えるよう技術面の支援が欠かせません。当院で脊椎外科手術用と関節外科手術用にそれぞれ導入しているコンピュータナビゲーションシステムは、自動車のカーナビのように手術中にネジやインプラントがどの位置にあり、どの程度動かしたらよいか、などをコンピューターが計測してくれるシステムです。このシステムを使用することで、執刀医はネジの位置やサイズを決めたり、術前計画通りの人工関節の設置を行うことができます。

また、脊椎脊髄疾患に関しては手術中に神経症状の変化をとらえる術中脊髄モニタリングや超音波診断装置などを取り入れ、術後は集中治療室で全身管理を行うなどの対策をとっています。



多職種の連携で早期回復を

専門的知識と治療技術で「迅速かつ正確な医療」、「患者さんに寄り添った医療」を目指しています。また、手術治療においては安心して手術を受けることができるようサポートする看護師や術後早期の機能回復を目指す理学療法士・作業療法士などの多職種と連携し、チーム医療として取り組んでいます。



気になる症状がある方は

膝が痛い、腰が痛いなど気になる症状がある方は、まずはかかりつけの先生にお問い合わせいただき、紹介状をお持ちのうえでご受診ください。



かかりつけの先生にお問い合わせください。

紹介状をお持ちになって当院の整形外科にお越しください。症状を確認します。

保存療法か外科的治療(手術)を行うか検討を行います。

外科的治療(手術)を要する場合、具体的に治療の手続きについてご案内します。



医師の働き方改革

2024年
4月から

スタートに向けてのお願い

医師の過度な労働を減らし、質と安全が確保された医療を提供し続けるため、2024年4月から、医師の時間外労働の上限規制も含めた「医師の働き方改革」がスタートします。

法規制の内容

- 医師の時間外労働の上限規制の適用
- 長時間労働医師への面接指導
- 勤務間の休息の確保

出典：厚生労働省ホームページ
(<https://riyou-iishi-hatarakikata.mhlw.go.jp/>)

患者さんやご家族の皆さまには、医師の健康を確保し、良質な医療を提供するためにご理解、ご協力をお願いします。

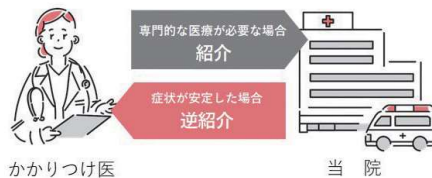
救急受診の適正利用

症状が軽い場合は、まずかかりつけ医のご受診をお願いします。また、緊急性のない場合の救急車の利用はお控えいただき、なるべく平日日中にご来院ください。



逆紹介の推進

症状が安定した患者さんは、地域のかかりつけ医への紹介(逆紹介)を勧める場合があります。地域で連携してよりよい医療を提供するため、ご理解、ご協力をお願いします。



9人に1人が罹患する乳がん。

乳がん検診を受診していますか？



9人に1人がかかる乳がん

40代から増えはじめる乳がんは増加の一途をたどっており、現在では9人に1人がかかる病気になっています。

乳がんの10年生存率は87.5%

検診でみつかるがんのほとんどがステージ0もしくはIで、早期発見で適切な治療を行うことが重要です。

当院の乳がん検診

当院併設の健康管理センターで行われている乳がん検診は、当院の乳腺外科医が問診・視触診・マンモグラフィの読影を担当しています。検診はマンモグラフィ単独で行う場合が多く、視触診が嫌だという方もご受診いただいています。

受診をご検討の方は

健康管理センターの人間ドックでの乳がん検診をおすすめしています。また、茅ヶ崎市のがん検診実施医療機関でもありますので、施設検診対象の方はこちらでもご受診いただけます。

出典：国立がん研究センターがん情報サービス

Information

ホームページ更新のお知らせ



消化器内科胆膵診療のご案内

早期発見がカギと言われている胆膵診療。新たな技術を活用した診断・診療を行う消化器内科の取り組みをご紹介します。



茅ヶ崎市立病院で出産をお考えの方へ

妊婦健診や入院、里帰り出産の案内など、お産に関する情報や当院が行っているマタニティクラスの情報をご紹介します。

紹介状をお持ちください

初期の医療は患者さんの身近にある診療所が担い、診療所が対応できない医療は地域の基幹病院が担うという医療機関の機能分担の推進を目的として、一般病床200床以上の地域医療支援病院では選定療養費の徴収が義務づけられています。

他の医療機関からの紹介状を持たずに当院を受診する場合は、通常の初診料のほかに選定療養費として7,700円(税込)をご負担いただけます。



茅ヶ崎市立病院

TEL:0467-52-1111



- ◇受付時間＝午前8時30分～11時
- ◇診療時間＝午前9時～午後5時
- ◇休診日＝土・日曜日、祝日、年末年始